

□ はじめに

本財団は、創立者 岡田茂吉の思想哲学に基づき、世界的な美術思想の涵養を通じて、人間の品性の向上及び平和愛好思想の醸成を図ることにより、高度の文化的芸術国家の建設に寄与することを目的とし、美術品等の収集・保存・展示・公開、美術に関する調査研究・国際交流、美術教育、芸術家養成、学術・技芸の教授・普及などの日本文化の普及昂揚に関する事業を行う。

本年度は、地域に開かれた「新しい公共性」の財団をめざし、美術教育と地元行政が進める町づくり事業を協働・推進するために幅広く意見を吸収し、町と共に繁栄する経営基盤の拡充に取り組むと共に、竣工から33年を経過したMOA美術館の改修工事を実施する。

I. 美術館運営事業

1. 企画展の開催

MOA美術館は、平成28年3月11日から改修工事を実施し、平成29年2月上旬にリニューアルオープンを予定しており、以後50日程度開館し、箱根美術館は、年間300日以上開館運営する。尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ所蔵する日本及び東洋の美術品を、テーマに沿って展示すると共に他館との協力のもと優れた美術品を一堂に集めた企画展を開催する。

(1) MOA美術館

- ① リニューアル記念特別名品展 MOA美術館の至宝
平成29年2月4日(土)～3月14日(火)
- ② リニューアル記念特別展 近世初期風俗画
平成29年3月17日(金)～4月25日(火)

(2) 箱根美術館

- ① 中世古窯を中心とした日本陶磁器展など

2. 館外展の実施

- (1) 東日本大震災復興支援として作品を無償で貸出し
郡山市立美術館(福島県)における「MOA美術館名品展」の開催
平成28年11月5日(土)～12月11日(日)
- (2) 名古屋ボストン美術館における「MOA美術館所蔵 吉田博版画展(仮称)」の開催
平成29年1月14日(土)～2月26日(日)

3. 賛助会員(友の会)の募集

4. その他

(1) 季刊誌の発行

① 財団活動を広く知らせるために「MOA美術館 美の友」誌を発行する。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

II. 表彰・コンクール事業

1. MOA美術館児童作品展

子供たちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培う事を目的とした表記の全国展を開催し、表彰と展示を行う。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援（参加賞の提供など）を行う。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定する。
(昨年度実績：414会場、応募数452,759点、参加校8,953校)
- ② 地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館における、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等で構成される全国展審査会において、文部科学大臣奨励賞などの各賞を決定する。

(2) 賞の種類と点数

- ① 絵画の部（昨年度実績）
 - a) 文部科学大臣奨励賞 6点
 - b) 外務大臣賞 3点
 - c) 厚生労働大臣賞 1点
 - d) 農林水産大臣賞 1点
 - e) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - f) 全国子ども会連合会会長賞 1点
 - g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - h) 審査員賞 1点
 - i) 金賞から入選 205点
- ② 書写の部（昨年度実績）
 - a) 文部科学大臣奨励賞 6点
 - b) 厚生労働大臣賞 1点
 - c) 農林水産大臣賞 1点
 - d) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - e) 全国子ども会連合会会長賞 1点
 - f) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - g) 審査員賞 1点
 - h) 金賞から入選 68点
- ③ 団体の部（昨年度実績）
 - a) 文部科学大臣奨励賞学校奨励賞 6校
 - b) 厚生労働大臣賞 2点

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

平成 29 年 2 月、MOA 美術館“能楽堂”において表彰式を行うとともに、MOA 美術館“円形ホール”に於いて「MOA 美術館全国児童作品展」を開催する。

(4) MOA 美術館全国児童作品展優秀作品紹介コーナーの刷新

改修工事に伴い、サーバー、モニター、運用ソフトウェア等の刷新、充実を図る。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA 美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行う。

(1) 茶会

① 光琳乾山忌茶会（平成 28 年 6 月 2 日・3 日）京都平安郷

② 初釜（平成 29 年 1 月）箱根、熱海

(2) 体験プログラム（お茶、お花など）

(3) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施

Ⅳ. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や獅子舞、野外における薪能、フロアコンサート等の公演を行う。

(1) 演能会

① 平成 29 年 2 月 12 日 リニューアル記念能の開催 他

(2) 薪能（海辺の薪能）

① 熱海市との連携のもと、サンビーチにおける薪能を開催（平成 28 年 10 月）

(3) コンサート

① アート&ミュージック 平成 29 年 2 月以降月 1 回実施

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ

花の美を楽しみながら情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、いけばなの講座（72 回）を実施する。

(2) 花サロン

生活の器を工夫して花を楽しむあり方を提案する 6 回型の光輪花講習会。光輪花ク

ラブ入門コースとしての役割も持つ。

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、学校・家庭・地域社会が一体となった美による情操教育（美育）の普及に努める。

1. 平成28年度文化庁補助事業 伝統文化親子教室（日本工芸会共催）

(1) 掛川市内の小学校で、工芸家による授業の実施

2. スクールプログラム

(1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 小中学校への出張授業の推進
- ② 小中学校における図画工作・美術科授業への教材の提供と開発協力
- ③ 静岡県及び全国における美術教師とのネットワーク構築

(2) 美術品の鑑賞手引き

- ① 小中高生を対象とした展覧会ガイド
- ② 教職員対象のセミナーなど

(3) いけばな・茶の湯の体験コースの実施

- ① 小中高生を対象としたプログラム
- ② 教職員を対象としたプログラム

(4) 中学生の職場体験学習の受入れ

3. MOA美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を行う。今期は、リニューアル工事の為、近隣施設の協力を得て練習を継続する。

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

(1) 顧客満足循環型経営への改善（職員によるワークショップの充実）

(2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

(3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定

(4) 寄付金制度（ファンディング）の推進

2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) MOA美術館リニューアルオープンに焦点をあてた広報・営業活動の推進
- (2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み
- (3) 経産省・観光庁の広域観光圏創出への事業参加
- (4) ホームページの改修

3. MOA美術館友の会の拡大

入館者の増加を図り、加えて美術館活動の財政基盤となる「友の会」の拡大を図る。その手だてとして、各地で「友の会茶会」を開催し、友の会会員の増加に努める。

4. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行う。

- (1) 光琳茶会（平成 29 年 2 月 22 日・23 日）MOA美術館 茶の庭
- (2) 熱海市成人式及び熱海市PTA連合会主催行事 等

5. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) MOA美術館改修工事の実施

開館 33 年を経過したMOA美術館の改修工事を実施し、平成 29 年 2 月のリニューアルオープンを目指す。

(2) 美術館の安全確保に向けた対策

- ① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての改善・改修
- ② 美術館の防災、防犯の設備強化
- ③ 危機管理体制の整備・強化

(3) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善と実施

- ① 展示の研究と実施

(4) 植樹をはじめ庭園の改善整備

6. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

改修後、観覧者に美術鑑賞をゆったりと美術鑑賞を楽しんでいただくために、飲食の充実を図る。

(2) ミュージアムショップの運営

以 上